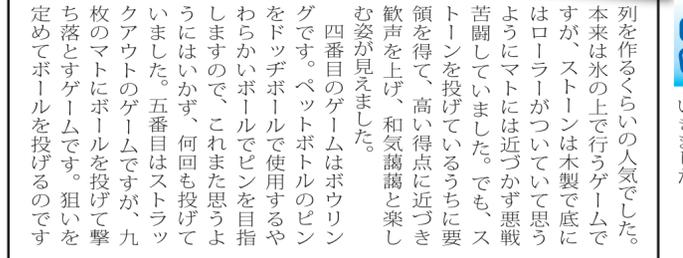




スポーツレクリエーション開催

平成三十年三月二十一日、児童会館体育室において豊平地区体育振興会がはじめて取り組んだ行事であるスポーツレクリエーションを、児童の体力不足を補う目的と老人クラブと児童のふれあいを目的に、児童会館と老人クラブに働きかけて開催いたしました。体育室を五ヶ所に仕切り、五つのゲームを考えました。その内容ですが、一番目のゲームはグラウンドゴルフです。本来は広いグラウンドを八ホウルに仕切りますが、今回は体育室ですので、二個のボールを使用し、ボールをスティック



クで打ち、ボールに何回も届くかというゲームです。最初はなかなか入らずにいましたが、役員の指導の下、最後にはホールインワン続出の結果になり、楽しみの増したゲームになりました。

二番目のゲームはカーリングコンです。各種合会の時に行っていましたので難なくクリアしていきまして。三番目はフロアカーリングで、この道具は豊平地域振興課を通じて厚別区地域振興課から借りて行いました。平昌オリンピックで行われた女子カーリングがLS北見の活躍で重なり、

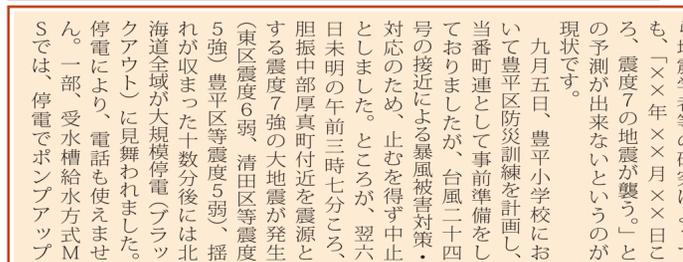
列を作るくらいの人気がありました。本来は氷の上で行うゲームですが、ストーンは木製で底にはローラーがついていて思うようにマトには近づかず悪戦苦闘していました。でも、ストーンを投げていくうちに要領を得て、高い得点に近づき歓声を上げ、和気藹藹と楽しむ姿が見えました。

四番目のゲームはボウリングです。ペットボトルのピンをドッゾボールで使用するやわらかいボールでピンを目標します。これまた思うようにはいかず、何回も投げていました。五番目はストラックアウトのゲームですが、九枚のマトにボールを投げて撃ち落すとゲームです。狙いを定めてボールを投げるのです



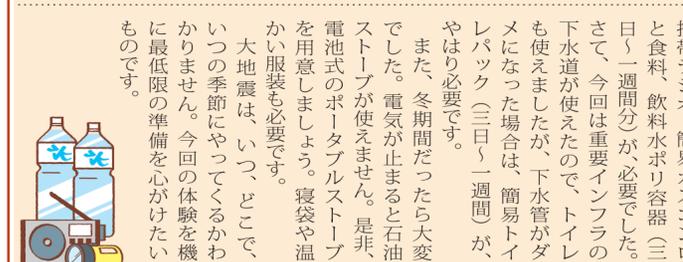
列を作るくらいの人気がありました。本来は氷の上で行うゲームですが、ストーンは木製で底にはローラーがついていて思うようにマトには近づかず悪戦苦闘していました。でも、ストーンを投げていくうちに要領を得て、高い得点に近づき歓声を上げ、和気藹藹と楽しむ姿が見えました。

四番目のゲームはボウリングです。ペットボトルのピンをドッゾボールで使用するやわらかいボールでピンを目標します。これまた思うようにはいかず、何回も投げていました。五番目はストラックアウトのゲームですが、九枚のマトにボールを投げて撃ち落すとゲームです。狙いを定めてボールを投げるのです



列を作るくらいの人気がありました。本来は氷の上で行うゲームですが、ストーンは木製で底にはローラーがついていて思うようにマトには近づかず悪戦苦闘していました。でも、ストーンを投げていくうちに要領を得て、高い得点に近づき歓声を上げ、和気藹藹と楽しむ姿が見えました。

四番目のゲームはボウリングです。ペットボトルのピンをドッゾボールで使用するやわらかいボールでピンを目標します。これまた思うようにはいかず、何回も投げていました。五番目はストラックアウトのゲームですが、九枚のマトにボールを投げて撃ち落すとゲームです。狙いを定めてボールを投げるのです



列を作るくらいの人気がありました。本来は氷の上で行うゲームですが、ストーンは木製で底にはローラーがついていて思うようにマトには近づかず悪戦苦闘していました。でも、ストーンを投げていくうちに要領を得て、高い得点に近づき歓声を上げ、和気藹藹と楽しむ姿が見えました。

四番目のゲームはボウリングです。ペットボトルのピンをドッゾボールで使用するやわらかいボールでピンを目標します。これまた思うようにはいかず、何回も投げていました。五番目はストラックアウトのゲームですが、九枚のマトにボールを投げて撃ち落すとゲームです。狙いを定めてボールを投げるのです



列を作るくらいの人気がありました。本来は氷の上で行うゲームですが、ストーンは木製で底にはローラーがついていて思うようにマトには近づかず悪戦苦闘していました。でも、ストーンを投げていくうちに要領を得て、高い得点に近づき歓声を上げ、和気藹藹と楽しむ姿が見えました。

四番目のゲームはボウリングです。ペットボトルのピンをドッゾボールで使用するやわらかいボールでピンを目標します。これまた思うようにはいかず、何回も投げていました。五番目はストラックアウトのゲームですが、九枚のマトにボールを投げて撃ち落すとゲームです。狙いを定めてボールを投げるのです

新任環境衛生部長挨拶

平成三十年四月から豊平地区クリーンさっぱり衛生推進協議会会長・町連環境衛生部長という責任ある立場に推薦されました。引き受ける事になったものの、私みたいな性格的にのんびりとした人間に務まるかどうか心配な部分もありますが、先輩方また各町内会の推進委員及び環境部長さん方の皆さんの話も聞きながら進めていきたいと思います。

豊平の町は各町内会地域のみなさんの働きで、町の中がとても綺麗な清潔感溢れる町です。クリーンさっぱり環境衛生部の皆さんが常に例会・施設見学会・研修会と研鑽を重ね、日々ゴミの出し方や減らし方など、またゴミを資源に変えてゴミを減らすなどいろいろ工夫をしながら活動しています。

豊平の町には、赤ちゃんから幼稚園児・学生（小中高大）・大人・高齢者・外国人まで色々な人が住んでいます。住民の皆さんが豊平の町で生活する上で、少しでも快適な生活を送れるようにとクリーンさっぱり環境衛生部は清掃（ゴミ片付け）・資源回収・花植えなど町の美化運動に取り組んでいます。

豊平地区老人クラブ連絡協議会 秋のパークゴルフ大会

平成三十年九月十三日、秋のパークゴルフ親睦交流大会が南七条橋ゴルフ場で開催されました。当日は普段行いの良い方ばかりと見えて朝から風もなく暑からず寒からずで、まさにパークゴルフ日和になりました。八時十五分に三十名のメンバーがAコース・Bコースに分かれてプレー開始です。果たしてボールインワン賞はあのでしょうか。

それでは成績を見てみましょう。まず男女七位は齋藤誠一さん（ときわ睦会）と益田悦子さん（旭水クラブ）でした。六位は栗山哲夫さん（さつき会）と斉藤幸さん（ときわ睦会）で、五位は山本将男さん（旭水クラブ）と菅原絹子さん（さつき会）、四位は関平忠志さん（橋台ときわ会）と山田悦子さん（旭水クラブ）、三位は山田保夫さん（ときわ倶楽部）と宮川芳子さん（さつき会）、二位は佐藤俊夫さん（ときわ睦会）と田中すみ子さん（ときわ倶楽部）でした。堂々の一位ですが、男性は富岡衛治さん（ときわ睦会）、女性は寒川怜子さん（ときわ倶楽部）に輝きました。ところで期待のホールインワン賞ですが、なんとときわ倶楽部の田中すみ子さんが獲得されました！

当日は快晴に恵まれ、事故もなく無事終了することができました。次回もまたよろしくお祈りいたします。（当番クラブときわ豊友会）



北海道マラソン

今や空前のマラソンブーム。休日ともなると多くのランナーたちがあちこちで練習している姿を見かけます。

私は幼い頃から走るの嫌いで、運動会は熱が出ないかと密に願うほどだった。それが、五十歳の時に友人に誘われて走り始めたのだが、御飯が美味しく、熟睡できて疲れが取れる感じが心地よかったです。そして、共通の仲間が増え、走るのがどんどん楽しくなってきました。

雅感 町内会を取り巻く環境

近年町内会活動に対して無関心層が増加してきている現状ですが、私なりに因果関係を考察してみました。

近年無関心層が進んできている要因として考えられるのは昭和三十年以降戦後復興で急速にインフラが整備されてきたことが挙げられるのではないのでしょうか。例えば当時下水道を完備して欲しいという地域住民より要望があれば町内会が中心となり行政への陳情署名を集め実現化したように、当時は重要な役割を果たした大きな期待と支持をされてきました。街路灯の設置、生活道路の整備、舗装等も同様である。また当時の庶民の生活は夫がサラリーマンか自営業であり奥さんは家事、育児をまかされ、時には各自自慢の漬物をもつて近隣の方々と井戸端会議でお付き合いしながら情報交換し地域の人と人との絆が強い時代でした。

しかし現代は科学技術の発展に伴いIT技術の進歩で何処にいても確かな情報を得られる時代になり、ある雑誌によると全国で三十万を超える町内会がありますが、今、存続の危機に瀕しています。ある調査では二十年前、七割近くあった町内会加入率が今や二割まで低下してきている地域もあるとの事です。

特に問題は過疎の地方でなく都市部が深刻化しているようです。高齢化や世帯の共働きが進んで町内会への関心が薄れてきている一方、行政か

新任所長 紹介!!

平成三十年四月、市役所本庁に栄転された飯高光紀前所長に代わり、豊平まちづくりセンターに本間敬規（ほんまけいけい）新所長が就任されました。本間新所長は昭和三十三年六月に釧路市に生まれ、すぐに札幌市北区へ移られました。その後、昭和五十六年に札幌市役所へ入庁し、北区役所の総合窓口課（現在の戸籍係課）を皮切りに市民行政関係職を歴任、市長政策室政策企画部課長職・東区役所土木部維持管理課管理担当課長・観光文化局文化財課長・西区役所市民部長を経て総務局オンブズマン事務局長から豊平まちづくりセンター所長へと転任されています。

まちづくりセンターの所長職は市役所本庁や区役所の意思を担当エリアへ伝達する職務と担当エリアからの意見を市役所本庁や区役所に伝達する職であります。さらには担当エリア及びエリア内各町内会の発展と各町内会同士の繋がりの強化という重大な任務もあります。

着任されてまだ日が浅いうちに町連五十周年記念の祝賀会や豊平神社例大祭・豊平ふ

らは人員やコストのスリム化を進めるために次々と町内会に新たな業務委託が来ます。住民参加の祭りや諸行事を取り仕切るだけでなく、ゴミ収集所の管理や防犯対策、高齢者の見守りなど多くの幅広い役割を担わされているのが現状です。

戦後はあくまで「地域の自主活動」としつつ、行政の末端に組み込まれた実態が現代社会に合わなくなってきているのです。また、若者が地域の中で生活していくためにはマイカーとコンビニとインターネットとSNSがあればあえて隣人と付き合う必要がないと思われ背景には、日々の仕事や生活に追われる中で

今地域がどうなっているのか情報もなく直接関連のある事以外すべて関わりたくない、あえて関わる必要もないと考える若者が増えてきています。

しかし不幸にも大規模災害に見舞われたら都市でも農村でも近隣住民の助け合いや支え合いが重要な役割を果たしてきた事例は論を待ちません。

今一度地域住民の絆を強く、より一層町内会活動に関心を持つてもらおう方策としてどのような事が考えられるでしょうか。

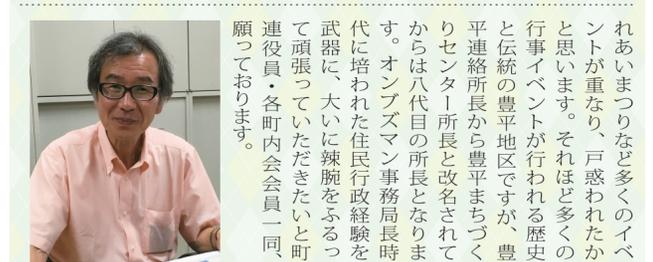
まずは町内会組織が任意団体であることが挙げられると思います。加入、非加入は個人の自由なのです。これでは将来大きな発展は望めないと思います。

①私見だが町内会組織を何らかの法人化できないものだろうか、法人化出来れば町内会費と行政からの補助金をもとにより活発な責任を伴う事業運営が出来るのではないだろうか。

②町内会行事は前年同様でなく、たまには見直し、時代を先取りした若者が興味を持つ事業はないか検討する。また、全員参加型の事業を増やす。

③役員は何十年も続投するのではなく、役員になる垣根を出来るだけ低くし新役員を入れ新しい風を入れる。

以上町内会が今後も更に発展し真の地域住民の代弁者となることを願って勝手な私見を書かせて頂きました事ご容赦ください。



思っています。

①私見だが町内会組織を何らかの法人化できないものだろうか、法人化出来れば町内会費と行政からの補助金をもとにより活発な責任を伴う事業運営が出来るのではないだろうか。

②町内会行事は前年同様でなく、たまには見直し、時代を先取りした若者が興味を持つ事業はないか検討する。また、全員参加型の事業を増やす。

③役員は何十年も続投するのではなく、役員になる垣根を出来るだけ低くし新役員を入れ新しい風を入れる。

以上町内会が今後も更に発展し真の地域住民の代弁者となることを願って勝手な私見を書かせて頂きました事ご容赦ください。



列を作るくらいの人気がありました。本来は氷の上で行うゲームですが、ストーンは木製で底にはローラーがついていて思うようにマトには近づかず悪戦苦闘していました。でも、ストーンを投げていくうちに要領を得て、高い得点に近づき歓声を上げ、和気藹藹と楽しむ姿が見えました。

四番目のゲームはボウリングです。ペットボトルのピンをドッゾボールで使用するやわらかいボールでピンを目標します。これまた思うようにはいかず、何回も投げていました。五番目はストラックアウトのゲームですが、九枚のマトにボールを投げて撃ち落すとゲームです。狙いを定めてボールを投げるのです

論壇

★地震・台風災害等の自然災害にどう備えるか

「札幌は、地震がない、台風もない。住みよい街だ。」市や区のほか、地区町連で防災訓練が行われたり、防災に関する広報が多くなったことは知っているが、心配してたら生活もできない。自分の地域は被害に合いっこないよ！といった認識ではなかったでしょうか。札幌市では新たな知見により、月寒断層帯の内陸型地震（最大震度7）が想定されるとして防災計画を策定しておりますが、残念ながら地震学者等の研究によっても、××年××月××日ころ、震度7の地震が襲う」との予測が出来ないというのが現状です。

九月五日、豊平小学校において豊平区防災訓練を計画し、当番町連として事前準備をしておりましたが、台風二十四号の接近による暴風被害対策・対応のため、止むを得ず中止としました。ところが、翌六日未明の午前三時七分ころ、胆振中部厚真町付近を震源とする震度7強の大地震が発生（東区震度6弱、清田区等震度5強）豊平区等震度5弱、揺れが収まった十数分後には北海道全域が規模停電（フラックアウト）に見舞われました。停電により、電話も使えませんが、一部、受水槽給水方式MSでは、停電でポンプアッ

が出来なくなり水道もダウンしました。

皆さんそれぞれ、懐中電灯やローソクを探したり、どう行動してよいのか迷われたと思います。エレベーターもダウン、車庫の電動シャッターもダウン等々、コンビニでは、電池、パン等の食料の買占め騒動、物流がストップという事態に至りました。まさに「びっくり」の体験となりました。札幌市内の各小中学校が避難所として開放されましたが、地区の避難所には若い方々や外国人の方等が避難しておりました。

災害時のサバイバルをどうすべきか。今一度考えましよう。「命を守る」が第一「水食」を確保。考えましよう。LEDランタン、懐中電灯、携帯ラジオ、簡易ガスコンロと食料、飲料水ポリ容器（三日〜一週間分）が必要でした。今回は重要インフラの下水道が使えたので、トイレも使えましたが、下水管がダメになった場合は、簡易トイレパック（三日〜一週間）が必要になります。

また、冬期間だったら大変でした。電気が止まると石油ストーブが使えません。是非電池式のポータブルストーブを用意しましょう。寝袋や温かい服装も必要です。

大地震は、いつ、どこで、いつの季節にやってくるかわかりません。今回の体験を機に最低限の準備を心がけたいものです。